

学校 番号	22	学校名	篠ノ井高等学校
----------	----	-----	---------

令和5年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和5年7月14（金）】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

第1回学校評議員会（7名の学校評議員中、6名参加）

- ・ 14:40 評議員委嘱
- ・ 14:50 授業見学
- ・ 15:55 ①開会 ②校長あいさつ ③自己紹介 ④学校概況説明 ⑤意見交換
⑥学校長より ⑦閉会
- ・ 17:00 定時制授業参観

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ 同窓会やPTA、自治会関係者、学識経験者、定時制教育振興会と多方面からバランスよく学校評議員をお願いして開催した。
- ・ 会議の前に「全日制」の授業参観、会議後には「定時制」の授業参観を実施できるように時間配分を行い、生徒の授業の様子も見ていただく機会を準備した。
- ・ 年度当初の学校評議員会なので、今年度の概況を中心に資料作成した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ 授業参観の感想が述べられ、『教室ごとの人数の違い』や『授業中のタブレットの使用状況』について質問があり、ロイロノートなどの活用例を紹介した。
- ・ 生徒指導主任から、自転車のヘルメット着用義務のことに触れた説明があったこともあり『現状のヘルメットの着用状況やスケアードストレイト（スタントマンを使った交通事故防止教育）について』質問があった。自転車事故の恐ろしさを知ってもらうためにもヘルメットの着用やスケアードストレイトの実施を検討したい。
- ・ 『総合探究を中心にすべての教科で実施…とあるが、具体的な取り組みとは？』の質問には、学校長より今年度から実施予定の「哲学対話」について説明。
- ・ コロナの5類移行にともない、授業や学校行事はもちろん、感染者が増えてきたときもオクレンジャー等で保護者にも配信してほしいと要望があった。
- ・ 『今年度1年生の定員割れの原因は？』『特進クラスの廃止の評価・総括は？』また『「3つの方針」が中学生にどのように伝わっているか？』等の質問が出され、それぞれ関係部署が回答したが、今後学校として分析が必要な大切な部分である。
- ・ 会議資料に「性被害防止・セクハラ根絶のための校内ルール」が掲載されていたが『非常にいい取り組みであると』評価していただき、『このルールの対象者は？』と質問があり、学校長が「職員向けです。」と回答した。評議員からは『生徒にも周知が必要では』とご指摘いただき「本校のHPにも掲載します。」となった。また『掲示場所』についても質問が出され、教頭より「全ての職員室に掲示しています。」と回答した。
- ・ 『働き方改革』について、どのような状況か質問があり、学校長より「打刻システムが導入され、それを意識することによって時間短縮につながっている。」と説明があったが、現状は打刻後にもクラブ指導などが行われている現状をお伝えした。

【以下、会議後に学校評議員からいただいた感想】

- ・ 定時制の授業参観をしていただき、生徒の授業への取り組みに対し『想像以上に真面目に授業に取り組んでいる様子を拝見し、正直びっくりした。』等の素直な感想が述べられた。また、中学校までの成育歴や不登校の状況を考えると『毎日、登校できていることがすばらしい。』等の感想をいただいた。
- ・ 定時制の生徒の通学手段について質問があり、現状を説明した。(バイク通学等)

4 成果と課題 (学校評議員会以外の活用状況を含む)

- ・ コロナへの対策を継続しながら、コロナ前の学校教育活動に戻すことに対し、好意的なご意見が多かった。
- ・ 昨年度の反省から、学校からの「概況説明」の時間を短くし、「意見交換」の時間が十分確保できたことは良かった。
- ・ 効果的な議論を進めるため、学校評議員の皆様事前に資料配布を行い、目を通していただいた上で会議に参加していただく方法を検討していきたい。
- ・ 様々な観点からご意見・ご助言をいただいた。中には、職員だけではなかなか思いつかない視点からのご指摘をいただき有意義な会となった。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。